

第14回 日本公衆衛生看護学会 学術集会

日時：12月13日（土）～14日（日）
／オンデマンド配信 2026年1月31日（土）まで予定

会場：石川県地場産業振興センター（石川県金沢市）

テーマ：変革の時代に求められる公衆衛生看護を考える：健康危機を超えた未来へ

プログラム：会長講演「変革の時代に求められる公衆衛生看護：健康危機を超えた未来へ」表志津子（金沢大学医薬保健研究域保健学系教授）／基調講演「変革の時代に求められる公衆衛生看護の力：未来社会をつくる」佐伯和子（PHN-PER オフィス・北海道大学名誉教授）／特別講演「健康日本21（第三次）とこれからの健康づくり戦略」辻一郎（東北大学大学院医学系研究科公衆衛生学分野名誉教授・客員教授）／シンポジウム「母子保健で今、何をすべきか、どこに向かうべきか～こども家庭センター設置に際して～」中板育美（武蔵野大学看護学科学部長・教授）、松浦真理子（石川県加賀市子育て応援ステーション〔こども家庭センター〕所長）、中谷徹（石川県中央児童相談所主幹）、武田真紀子（石川県中央児童相談所健康推進専門員）、「2040年を見据えた保健師基礎教育・現任教育」森永裕美子（岡山県立大学保健福祉学部看護学科教授）、古川馨子（静岡県牧之原市役所健康推進部健康推進課副参事）、藤野ユリ子（福岡女学院看護大学看護学部学部長・教授）、「ICTやAIを利用した公衆衛生看護管理の実践活動」堀池諒（奈良県立医科大学医学部看護学科准教授）、田口

敦子（慶應義塾大学看護医療学部教授）、西ミキ（石川県加賀市役所市民健康部福祉政策課課長）／特別企画「地域における保健師の保健活動に関する指針の改定について」後藤友美（厚生労働省健康・生活衛生局健康課保健指導室室長）／公衆衛生看護セミナー／パネルディスカッション／企画展ほか

参加登録：〔後期〕～2026年1月31日（土）

参加費：〔後期・当日〕会員1万1000円、非会員1万2000円、学生（社会人院生を除く）5000円

問い合わせ先：運営事務局 株式会社ユピア

✉ japhn14@yupia.net

☎ 052-872-8101

FAX 050-3737-7331

URL <https://japhn14.yupia.net/>

日本看護サミット2025

日時：現地会場＋オンライン配信（ハイブリッド開催）2026年2月5日（木）10:00～17:00（9:30開場）

※オンデマンド配信なし

会場：パシフィコ横浜国立大ホール（横浜市西区）

テーマ：ウェルビーイング時代における看護職の働き方革命

プログラム：解説「これまでの看護職の働き方改革と看護の将来ビジョン2040」勝又浜子（日本看護協会副会長）／特別講演『『6足のわらじ』を履く笑い飯 哲夫の働き方革命』笑い飯 哲夫（漫才師）／鼎談「今後の医療提供体制の変革に対応し、専門性を発揮できる看護職の働き方と必要な政策とは」友納理緒（参議院議員）、習田由美子（厚生労働省医政局看護課課長）、秋山智弥（日本看護協

会会長）／「看護職の働き方に関するスローガン（提言）の発表」秋山智弥（日本看護協会会長）ほか

参加申込：〔早期申込〕2026年1月21日（水）まで、〔通常申込（クレジットカード決済のみ）〕2026年1月23日（金）～2月5日（木）

申込方法：下記Webサイトの「サミット参加申込」より

参加費：〔早期申込〕5500円（税込）、〔通常申込〕7700円（税込）、看護学生は無料、下記Webサイトの「学生申込」より

※看護学生は保健師・助産師・看護師および准看護師の免許を未取得の看護学生のこと

URL <https://www.nurse.or.jp/nursing/summit/2025/index.html>

掲載情報は11月5日現在のものです。最新の情報は主催者にお問い合わせください。

本欄へ掲載を希望する学会・研究会・講演会などのお知らせがありましたら、本誌編集室までお送りください。

✉ hokenshi@igaku-shoin.co.jp